

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-228	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 310	小学ほけん 3・4年		

1 編修の基本方針

自らの人生を力強く歩める力を身に付け、 人と共に生きる社会を形成する

環境や社会情勢が大きく変化しているなか、これからの社会を生きる児童にとって、意思をもって自らの進む方向を見据え、主体的・協働的に課題解決に取り組む経験を重ねることは重要です。保健を学習することで、生活の質の向上を図るとともに、周りの人の健康や安全にも目を向け、共に支え合う関係性や環境づくりを実行していく力を育むことが求められています。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、児童が周りと協力しながら自分の未来を創造していくために必要な資質・能力の育成を目指して編集しました。

1

個別最適な学びと協働的な学びを通して 課題解決する力を育む教科書

主体的・対話的で深い学びの実現

自分の生活を振り返り、健康・安全における自己の課題を見つけて課題解決に向けて思考・判断する力と、他者と共に考えたり伝え合ったりする協働的な学びを通して課題を解決していく力を、育むことができる教科書を作成しました。

2

自己実現の喜びを実感できる教科書

意欲的で自発的な学びの実現

保健の学習を通して、自分の健康課題に気づき解決していく楽しさや喜びを味わいながら、自己実現を目指していくことができるように、様々な工夫をしました。

3

今必要な知識・技能が身に付く教科書

知・徳・体の調和に根ざした学びの実現

現代的な課題を重視して健康・安全についての知識と技能を精選し、現代を生きる児童にとって必要な情報を的確に身に付けることができるように構成しました。

1 個別最適な学びと協働的な学びを通して 課題解決する力を育む教科書

児童が自分の健康課題に気づき、その解決に向けて自らすすんで学び、考える力を育成できるような工夫をしています。(個別最適な学び)

① 学習の流れが一目でわかる紙面構成

1時間を見開き1ページで学習することを基本とし、「導入」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」を、学習の流れに沿って配置しています。全単元統一されたデザインで、学習の流れが一目でわかるように工夫しました。

また、学習活動の指示文の前に、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」のマークをつけることで、どのような活動をするのかを明確に示しました。

② 二次元コードの掲載

学習の補足となる資料や、現代的課題に即した資料や動画を、二次元コードからアクセスして見られるようにしました。

授業の時間以外にも児童が自発的に見てみたくなるよう、掲載資料を精選しています。

学習を深める
動画や資料を掲載



(p.16 ~ 17)

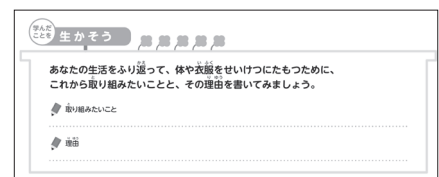
③ 自分の健康課題に気づき、解決する工夫

学習の導入として「見つけよう」を毎時間設け、児童がこれから学ぶ内容を自分のこととして捉えられるように、これまでの経験をもとに考えたり、自分の生活を振り返って健康課題に気づいたりできる活動を設定しています。

また、毎時間の終わりには、「学んだことを生かそう」の活動を設定し、学習した知識を実生活や実社会で活用できる実践力を育てられるようにしています。



(p.16)

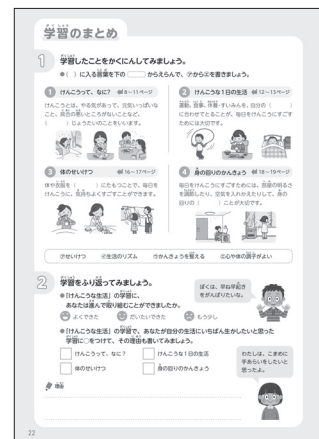


(p.17)

④ 章末ページ 「学習のまとめ」

各章末に「学習のまとめ」を設定しました。学習した内容を選択式の問題で確認することで、学習内容の定着を図ります。

また、学びに向かう態度を自分で評価し、新たな課題を設定することで、学習後も継続的な学びができるようにしました。



(p.22)

言語活動を重視し、児童が他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしています。(協働的な学び)

⑤ 協働学習の設定

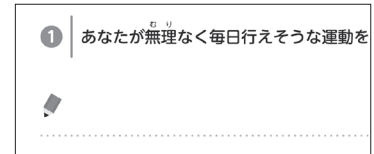
児童が話し合っ考える活動や、自分の考えを他者に伝えたり、説明したりする活動を数多く取り入れ、「話し合おう」「学んだことを生かそう」のマークで示しました。



(p.18)

⑥ 記述する活動の充実

資料をもとにただ話し合うだけではなく、自分の考えを記述して伝える活動を豊富に設定しました。表現力の育成を目指し、記入するスペースは可能な限り広くとり、児童が自分の考えを十分に表現できるようにしました。



(p.36)

2 自己実現の喜びを実感できる教科書

「何のために保健を学習するのか」をテーマにした読み物を通して、児童が保健の学習の必要性や意義に気づき、自発的に取り組める工夫をしています。

① 巻頭ページ 「わたしとけんこう」

巻頭ページでは、児童に人気のあるスポーツ選手やクリエイターから、「わたしと健康」というテーマで小学生に向けたメッセージをいただき、掲載しました。児童に、健康が「夢をかなえる力(自己実現)につながる」ということを実感してもらうための工夫です。

② 巻頭ページ 「どうしてほけんを学ぶのかな。」・章扉

「どうして保健を学ぶのか」というテーマを学習内容に沿って、ストーリー形式でわかりやすく示すことで、保健を学習する意義や大切さに気づけるようにしました。これから始まる保健の学習への興味・関心を引き出し、目的意識をもって学習に取り組めるような内容となっています。

また、ストーリーを通して、周りの人と相談し、一緒に学ぶ様子を提示しています。

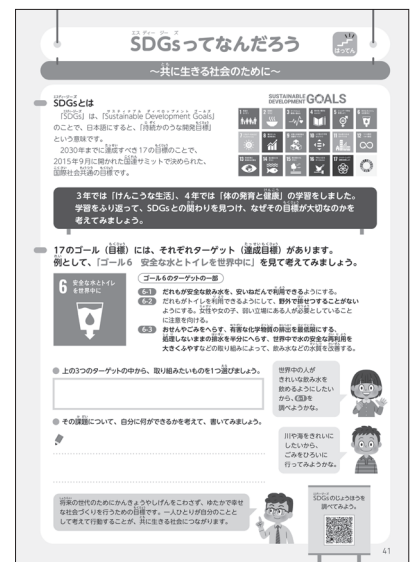
③ 巻末ページ 「SDGs ってなんだろう ～共に生きる社会のために～」

巻末にSDGsの特集ページを掲載しました。SDGsの17の目標の中から、保健の学習内容に関連した目標を紹介し、自分が取り組んでみたい課題を選択して自分にできることを考える活動を設定しました。

世界で起きている事象に目を向け、児童一人ひとりが参加者意識をもって、保健の学習内容を生かし、自分で考え行動していけると願いを込めて作成しています。



(p.2)



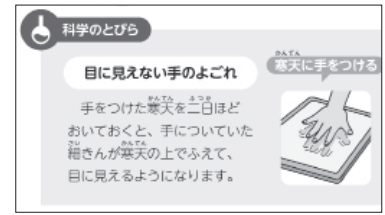
(p.41)

児童が自分の興味・関心に応じて、課題について考えたり、調べたりすることができるように配慮しています。

④ コーナー

「科学のとびら」「この人に聞く」

学習内容の理解を深める科学的な資料を「科学のとびら」コーナーとして位置付けました。また、児童が生活と結び付けて、学習内容を身近なものとして捉えられるように、学習内容に関連する職業や専門家の人の話を「この人に聞く」コーナーとして掲載しました。



(p.16)

⑤ 資料ページ

「広げよう・深めよう」

学習内容に関連した現代的資料をまとめて掲載しつつ、単に資料の提示にとどまることのないよう、キャラクターの問いかけを工夫し、自分ごととして課題を捉え、「さらにもっと知りたい」と継続的に学ぶ姿勢を養える発問を設定しました。



よいすいみを十分な時間とるために、自分でできることは何かあるかな。



(p.38 ~ 39)

3 今必要な知識・技能が身に付く教科書

児童を取り巻く様々な社会状況や生活習慣の変化に応じた課題を、積極的に取り上げています。

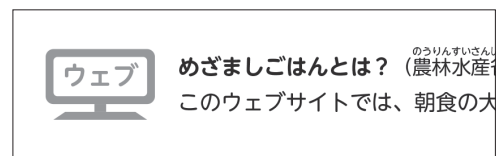
① 現代的課題に関する情報

教科書編集委員と共に、現代的な課題に向き合い、これから生きる児童のために必要な課題を精選し、配慮をもって情報を掲載しました。

- 基本的な生活習慣 (運動習慣、スクリーンタイム)
- 安全教育 (生活安全、交通安全、災害安全)
- ジェンダー (性自認、相談窓口)
- インターネットの使い方
- 感染症対策 (手洗い、換気)

② ウェブサイトの紹介

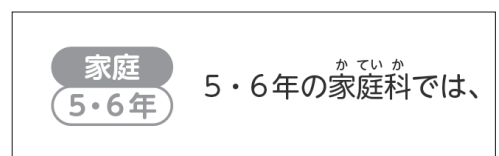
インターネットを活用する際の注意事項を記したうえで、児童がより学びを深めたい内容を主体的に調べられるよう、調べ学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。



(p.10)

③ カリキュラムマネジメント

他教科との学びの関連性を教科書内で示し、教科横断的に学びを理解し整理できるようにしました。



(p.17)

2 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	わたしとけんこう	●スポーツ選手やクリエイターが児童に向けて健康について語る文章を掲載し、健やかな体を養うための自主及び自律の精神に気づかせ、保健について主体的に学ぶ意欲をもてるようにしました。(第1号・第2号)	表2・p.1
	どうしてほけんを学ぶのかな。	●保健を学ぶ意義をストーリー形式で伝えることで、なぜ学ぶのかを理解し、自分に必要な知識を身に付けるという自覚をもって主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1号)	p.2
	学習の進め方を知ろう。	●教科書の使い方及び学びに向かう態度や話し合い活動の具体的な行い方を紹介することで、自他の意見を尊重し、協働しつつ主体的に学びを深められるようにしました。(第1号・第3号)	p.4~5
	安全な生活のために	●命を守るために必要な安全や防災についての内容を取り上げました。(第1号)	p.6
各章	扉	●その章の学習内容を学ぶ意義をストーリー形式で伝え、なぜ学ぶのかを理解し、健康課題への自覚をもって主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1号)	p.7・p.23
	全体	●健康・安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p.7~40
		●調べたり話し合ったりしながら課題解決をする学習活動を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号・第3号)	p.7~40
		●豆知識、他教科や他学年の学習との関連、外部のウェブサイトなどを紹介することで、学習内容に関連した幅広い知識を身に付けられる機会を増やすようにしました。(第1号)	p.7~40
		●イラストや写真において、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配置し、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を意識付けるようにしました。(第3号)	全体
		●「この人に聞く」コーナーなど、専門家が伝える形式を取り入れることで、学習に広がりをもたせると同時に、保健の学習に関係深い職業を知り、勤労を重んずる態度も養えるようにしました。(第2号)	p.18・26 32
	3年けんこうな生活	●健康な生活のために必要な1日の生活のしかたや環境の整え方についての学習を通して、自分の生活態度を見直し、自身の能力を伸ばし自律の精神を養えるようにしました。(第2号)	p.8~20
		●学校の身の回りの環境を整える仕事をする人たちを紹介することで、保健の学習に関係のある職業を知り、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)	p.21
	4年体の発育と健康	●自らの成長の過程を振り返り、この先の成長について学ぶとともに、精子や卵子についても学ぶことで、生命の繋がりがりや生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第4号)	p.24~33
		●体の発育・発達には個人差があることをくり返し記述し、複数の個人の体験談を提示することで、自他の発育・発達の違いについての理解を深め、自他の個性を尊重する態度を養えるようにしました。(第2号・第3号)	p.24~33
		●性自認や性的指向について「他の人と違う」と感じる人が存在することを紹介し、性の多様性についての理解を深め、自他の個性や感じ方を尊重する態度を養えるようにしました。(第2号・第3号)	p.32~33
		●よりよい発育のために必要な運動、食事、休養・睡眠についての学習を通して、自分の生活態度を見直すことで、自身の能力を伸ばし自律の精神を養えるようにしました。(第2号)	p.34~39
		●運動の例を紹介する際に昔遊びを提示することで、伝統的な遊びの有用性に気づき、伝統や文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号)	p.37
学習のまとめ	●学習したことを振り返り、自分の生活に最も生かしたいと思ったことを考えさせることで、自分の生活改善についての意識を高め、自律の精神を養えるようにしました。(第1号・第2号)	p.22・40	
巻末	SDGs ってなんだろう	●国際社会における共生の視点に気づき、社会における規範意識や生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号・第4号・第5号)	p.41

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① ユニバーサルデザイン

- 全ての文字に、読みやすいユニバーサルデザイン (UD) フォントを用いています。
- 文節の切れ目で改行することを原則とし、読解しやすくしています。
- カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現において専門家の指導のもと点検して編集をしています。
- 各単元のまとめとなる基礎的・基本的事項は文頭に★マークを付けて示したほか、大事な用語や文は太字で目立たせ、目に入りやすいようにしています。
- 文や資料が混同しないよう、間に余白を設けたり、線を引いたりしています。
- 教科書バリアフリー法の趣旨に基づき、拡大教科書を文字の大きさ別に複数種類発行いたします。また、デジタル教科書を制作・発行します。

② 造本上の工夫

- 表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢に仕上げています。
- 本文は書き込みやすく、不透明度を向上させた裏写りしない紙を採用しました。

編修趣意書

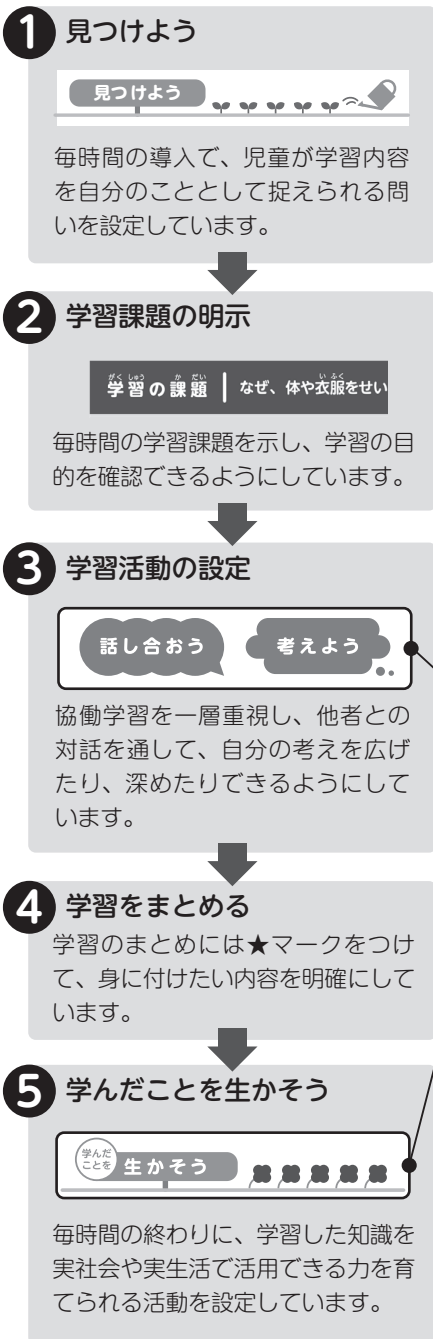
(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-228	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 310	小学ほけん 3・4年		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びを実現することができる教科書

「主体的・対話的で深い学び」を通して、自分の健康課題を見つけ、その解決に向けて自ら考える力を育成できるように、学習の流れがわかりやすい構成にしました。



学習の流れが一目でわかる紙面構成

3 体のせいけつ

1 見つけよう 体や身の回りのことで、いつもできていることに□をつけてみましょう。

2 学習の課題 なぜ、体や衣服をせいけつにするひつようがあるのでしょうか。

3 調べよう よごれていないように見えても、手や衣服をせいけつするひつようはありますか。

4 話し合おう どうして毎日、ハンカチや衣服を折りかえるのでしょうか。

5 生かそう あなたの生活をより進めて、体や衣服をせいけつしたためにより、これを取り組みたいこと、その理由を書いてみましょう。

(p.16 ~ 17)

- ◎**記述する活動の充実**
表現力の育成を目指し、自分の考えを記述して伝えたり説明したりする活動を数多く設定しました。
- ◎**「学習のまとめ」ページ**
学習内容を選択式の問題で確認し、知識の定着を図ります。また、学びに向かう態度を自分で評価し、新たな課題を設定することで、学習後の活動へと展開できるようにしました。
- ◎**学習を導くキャラクター**
児童の思考に寄り添った疑問、考えを広げる視点、課題解決に結び付くヒントやポイントなどを提示しました。

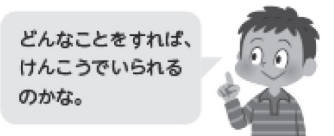
学習のまとめ

1 学習したことをかきつけてみましょう。

2 学習を振り返ってみましょう。

3 学んだことを生かそう

(p.22)



2 意欲的で自発的な学びを促す教科書

「何のために保健を学習するのか」ということに対して、児童が見通しをもって取り組めるように、巻頭・巻末ページや章扉、単元内の資料を工夫し、学習内容を充実させました。

① 巻頭特集ページの工夫

巻頭「わたしとけんこう」



(p.1)

児童に人気のスポーツ選手やクリエイターから、保健を学ぶ小学生に向けてのメッセージを掲載しています。健康でいることが日々の生活の充実や夢をかなえる力になることを実感できるようにしました。

保健を学ぶ意欲を高める扉の漫画



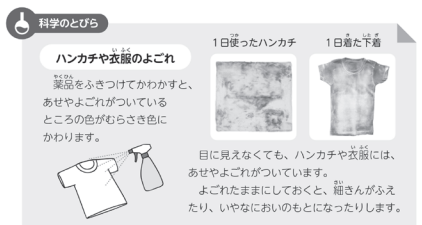
(p.2)

(p.7・23)

巻頭漫画では、保健を学習する意義や大切さを伝えて、これから始まる学習への興味・関心を引き出します。章扉では、児童が学習内容を身近に感じられるように、これから学習する内容をストーリー形式で示しました。

② 具体的な解説が満載の単元ページ内のコーナー

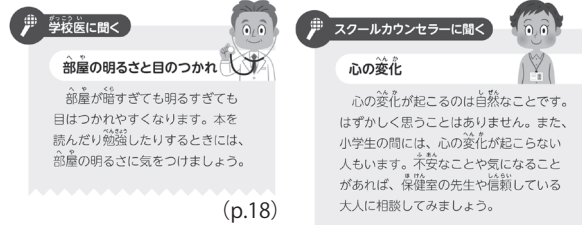
科学のとびら



(p.17)

学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載しました。根拠をもって考える力を身に付けることができるようにしています。

この人に聞く



(p.18)

(p.32)

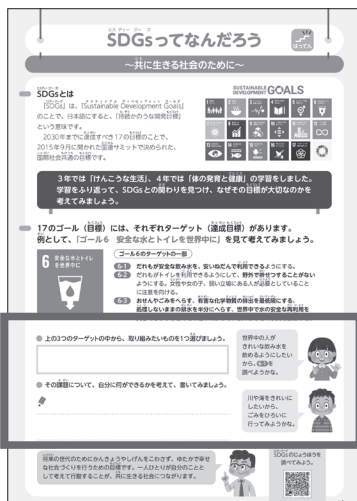
保健室の先生や学校医、スクールカウンセラーといった、保健に関連する職業や専門家の人の話を掲載しました。なぜこの学習が大切なのか、気づきを促します。

③ 共生社会の実現に向けたSDGs資料の掲載

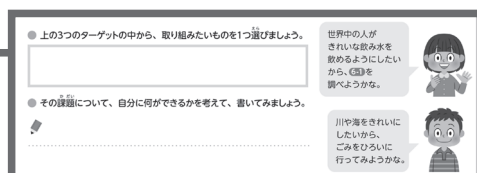
巻末「SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～」

巻末ページには、SDGsについて学びを深める資料を掲載しました。保健の学習内容に関連したSDGsの目標を紹介し、課題の中から自分にできることを考える活動を設定しています。

すべての人が豊かで満たされた生活を送ることができるよりよい世界を目指して、児童一人ひとりが自分には何ができるのかを考え、行動していくことができる力を育てるようにしました。



(p.41)



3 現代的な課題への対応を重視した教科書

① 健康・安全に関する現代的課題の掲載

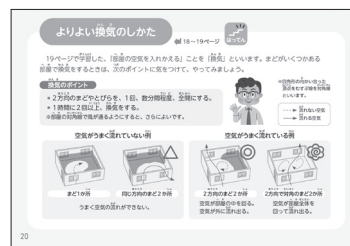
情報化社会の発展や生活習慣の乱れなど、社会状況の変化に応じた健康・安全に関する課題を取り上げています。児童が自分の身近にある課題に気づき、関心をもって取り組めるように、資料の掲載を精選しました。

▼掲載資料例

運動と健康の関連	これも運動！	p.14
	体を動かそう	p.37
	宇宙飛行士と運動	p.37
食に関する内容を重視	早ね早起き朝ごはん	p.14
	スポーツ選手と食事	p.38
	インターネットを使うときの注意	p.5
情報社会への対応	スマートフォンなどの使い方と生活のリズム	p.15
	目に見えない手のよごれ	p.16
新しい感染症への対策	あらうだけでよごれはおちる？	p.16
	まどやドアを開けたときの部屋の空気	p.19
	めざせ！手のあらいのこしゼロ	p.20
	よりよい換気のしかた	p.20
共生社会への対応	SDGs ってなんだろう～共に生きる社会のために～	p.41
現代的健康課題への対応	やせすぎ、太りすぎに注意！	p.26
	スポーツ障害	p.38
	すいみんの大切さ	p.39
その他	安全な生活のために	p.6
	学校でのほけん活動	p.21
	新しい生命のたんじょう	p.33
	「性」についてのなやみ	p.33



体を動かそう (p.37)



よりよい換気のしかた (p.20)



スマートフォンなどの使い方と生活のリズム (p.15)

◎児童の学習を深める問いかけ

より深い学びを促すキャラクターの問いかけや補足について、別にデザインしたふきだしで掲載しています。児童の自発的な学習を促す内容となっています。

② 効果的に活用できるデジタルコンテンツ

学習内容に関連する動画や資料、ウェブサイトの情報などを豊富に掲載しました。児童が自分の興味・関心に応じて、課題について考えたり、調べたりすることができるように配慮しています。

デジタルマーク

デジタル

各ページに二次元コードを掲載し、必要に応じてアクセスできる資料を紹介しています。動画や画像、外部リンクなど、児童の学びを助け、深める内容を充実させました。

関連する学習内容の近くにデジタルマークを設置することで、資料を扱うタイミングがわかりやすいように工夫しています。

ウェブサイトの紹介

ウェブ

学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。

▼デジタルマーク 動画や資料の例

体づくり運動 (動画)	p.14-37
手のよごれ (動画)	p.16
衣服のよごれ (動画)	p.17
部屋の換気 (動画)	p.19
手のあらい方 (動画)	p.20
骨の成長のしかた (資料)	p.27
いつごろ体に変化があらわれたか (資料)	p.28
生命の安全教育 (資料)	p.28
なやみの相談窓口 (資料)	p.33
運動量 (資料)	p.34

項目別特色

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第2条「教育の目標」の達成に向けて、健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体と自主自律の精神を養い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育む学習ができるように、紙面を編修しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領総則の基本方針である「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」に沿って、保健の「見方・考え方」を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成ができることを目指し、編修しました。 ●小学校学習指導要領体育編に示される内容について、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得を図り、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」と相互に関連させて高める学習ができるように紙面を構成しました。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について、児童の発達段階や興味・関心に応じて身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結び付けることを目指して編集しました。児童が自ら学び、自ら考え、他者と協働する「生きる力」を養い、健康的なライフスタイルを確立できるように目指しています。 ●保健の内容について、系統性のある指導ができるように、小学校の保健の他学年の内容と関連を紙面で示しています。
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年において、学習指導要領に示された内容が所定配当時間内で指導できるように各単元を配列しています。 ●1単位時間あたり見開き1ページを基本の構成として、毎授業が必ず見開きの左ページから始まる配置にしています。 ●各単元の学習内容は、必要かつ十分なものとなるよう精選しています。学習内容以上に資料や知識を確認したい場合は、各単元に設定したデジタル資料で確認することができます。 ●各単元内の課題解決に向けた学習活動は、授業時間を考慮し、時間内に取り組みるように設定しています。
知識・技能の習得に関する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元のまとめとなる基礎的・基本的事項は文頭に★マークを付けて示したほか、大事な用語や文は太字で目立たせ、目に入りやすいようにしています。 ●各章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確実な定着、学びに向かう態度の確認、自己の生活と関連付けて実践する力の育成ができるようにしています。
思考力・判断力・表現力の育成に関する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元冒頭の「見つけよう」で自分の健康課題を発見し、習得した知識を活用して考える活動や、毎時間の最後に自分の生活にあてはめて考える活動「学んだことを生かそう」を設定することで、課題解決学習を通じて思考力・判断力・表現力を総合的に育めるようにしています。 ●伝え合う活動を重視し、全単元において、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入欄を豊富に設けています。 ●他教科、他領域、他学年での学習との関連を随所に示し、思考力・判断力・表現力を働かせるための横断的な学習を行いやすくしています。
学びに向かう力・人間性等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●各章ごとの扉に学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲や学びに向かう力を促進する工夫をしています。 ●各単元冒頭の「見つけよう」で自分の生活を振り返ったあとに「学習の課題」を確認することで、学習内容をより自分ごととして捉えられるように構成しています。 ●各単元末の「学んだことを生かそう」で学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できる構成にしています。
主体的・対話的で深い学びを実現する課題解決学習を促す工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう、各単元を必ず「1自分の生活を振り返る」「2学習の課題をつかむ」「3課題解決に向けて学習活動をする」「4学習をまとめる」「5自分の生活に生かす」の学習過程で構成しています。 ●初めに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから学習の課題を提示することで、児童が関心を持って主体的に学習に取り組めるようにしています。 ●「話し合おう」という学習活動や「学んだことを生かそう」の項目で他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促しています。 ●「広げよう・深めよう」や各単元に設定されたデジタル資料で、児童が興味・関心に沿って学習内容についてより深く学べるようにしています。
評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●各活動で記入欄を多く設定し、評価に活用できるようにしました。 ●章の終わりに「学習のまとめ」として自己評価問題や活用問題を設定し、評価に活用できるようにしました。
教育のICT化に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●理解を促進し、学習効果や効率を向上するなどの目的から、デジタルコンテンツを豊富に用意し、対応する箇所に「デジタル」マークを示しました。 ●教科書の紙面に二次元コード（QRコード）を配置し、関連した動画などのデジタルコンテンツを手軽に見ることができるようにしています。 ●調べ学習に役立つウェブサイトを随所で紹介しています。 ●学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や、総ふりがななどの機能がおり、特別支援教育にも活用できます。 ●情報活用や情報モラルに対応した活動や資料を改訂し、掲載量を増やしています。
現代的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●単元内のコーナーや資料ページ「広げよう・深めよう」などで、運動、食育、睡眠、防犯、防災、情報モラル、ICT機器の活用と健康、「性」についての悩み、相手の同意を得るコミュニケーション、SDGsなどの今日的な課題に対応した情報を豊富に掲載しました。児童の発達段階に応じて、説明する内容への配慮、調整をしています。 ●運動と健康との関連を重視し、各学年で必ず取り扱っています。 ●防犯について、高学年の「けがの防止」の単元だけでなく、中学年の巻頭でも取り扱っています。 ●キャリア教育やオリンピック・パラリンピック教育の観点から、スポーツ選手やクリエイターが語る「わたしと健康～保健を学びなさんへ～」というページを巻頭に設けています。

項目別特色

他教科・他領域との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●体育科の運動領域をはじめ、理科、社会科、家庭科、道徳科といった他教科・他領域の学習との関連が図れるように、他教科との関連をマークで示しました。 ●各学年で体育科の運動領域「体ほぐしの運動」を紹介しています。
家庭や地域社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●保健を学習する意義やねらい、学習内容を「保護者へのメッセージ」として裏表紙に掲載しました。 ●様々な活動に従事する人々による解説「この人に聞く」や、地域で実施されている保健に関わる取り組みの様子を写した写真や資料を掲載し、地域社会との関わりを考えることができるようにしています。 ●「家の人」とのコミュニケーションを図る内容を、各学年に掲載しました。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●専門用語と、当該学年配当漢字および当該学年以降に学習する漢字については、初出だけでなく都度ふりがなを付け、児童の読みの負担を軽減しています。 ●熟語については、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、当該学年以降の漢字をふりがな付きで使用しています。 ●イラストや写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の書体や大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。 ●全ての文字に、読みやすいユニバーサルデザイン（UD）フォントを用いています。 ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現について専門家の指導のもと点検して編集をしています。 ●文や資料が混同しないよう、間に余白を設けたり、線を引いたりしています。 ●教科書バリアフリー法の趣旨に基づき、拡大教科書を文字の大きさ別に複数種類発行いたします。
判型	<ul style="list-style-type: none"> ●使いやすさと見やすさを考慮し、A4判を採用しています。 ●写真やイラストを多く使用し、児童の興味・関心をひきやすくしたほか、記入欄を大きくして、児童が自分の考えを十分に表現できるようにしています。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙、本文ともに環境に配慮して作成された紙を使用しています。 ●本文は不透明度を向上させた紙を使用し、裏写りせず見やすくなるようにしています。 ●製本には針金を使用せず、環境に配慮しています。 ●表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢に仕上げています。 ●印刷には植物油インキを使用しています。

2 対照表

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
3年	1章 けんこうな生活	・G 保健（1）ア、イ	7～22	全4時間
	1. けんこうって、なに？	・（1）ア（ア）、イ	8～11	1
	2. けんこうな1日の生活	・（1）ア（イ）、イ	12～15	1
	3. 体のせいけつ	・（1）ア（ア）（イ）、イ	16～17、20	1
	4. 身の回りのかんきょう	・（1）ア（ウ）、イ ・内容の取扱い（6）	18～21	1
4年	2章 体の発育と健康	・G 保健（2）ア、イ	23～40	全4時間
	1. 変化していくわたしの体	・（2）ア（ア）、イ ・内容の取扱い（7）	24～27	1
	2. 思春期の体の変化①～体の外～	・（2）ア（イ）、イ ・内容の取扱い（7）	28～29	1
	3. 思春期の体の変化②～体の中～	・（2）ア（イ）、イ ・内容の取扱い（7）	30～33	1
	4. よりよい発育のために	・（2）ア（ウ）、イ ・内容の取扱い（6）（8）	34～39	1
			合計	8時間

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-228	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208 光文	保健 310	小学ほけん 3・4年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
6	安全な生活のために	1	G保健(1) 健康な生活 ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。	1
15	スマートフォンなどの使い方と生活のリズム	2	G保健(1) 健康な生活 ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。	1
20	よりよい換気のしかた	2	G保健(1) 健康な生活 ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。	0.5
26	歯の成長	2	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。	0.25
33	新しい生命のたんじょう	2	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。	0.5
33	「性」についてのなやみ	2	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。	0.5
37	宇宙飛行士と運動	2	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	0.25
38	スポーツ障害	1	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	0.5
39	すいみんと発育	2	G保健(2) 体の発育・発達 ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	0.25
41	SDGs ってなんだろう～共に生きる社会のために～	2	G保健(1) 健康な生活 ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。	1
合計				5.75

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容